

JavaScript研修

jQuery編

5. エラー処理

5. エラー処理

エラーがあった場合を想定して
エラー時の表示・対策を設定する



ポイント

- `error()` の使い方

5. エラー処理

HTML

```

```

もし読み込む画像がリンク切れしていたら、
あらかじめ準備しておいた別の画像を表示したい

5. エラー処理

JavaScript

```
$(function () {  
    $('1').2(function () {  
        $(3).4({  
            5: '6',  
            7: '8'  
        });  
    });  
});
```

5. エラー処理

JavaScript

```
$(function () {  
    $('何が').done(function () {  
        $(どれを).done(どうする({  
            どれ : 'どう',  
            どれ : 'どう'  
        }));  
    });  
});
```

5. エラー処理

- JSを発生させるタイミング → なし
 - どこを変えるか？ → ``の画像
 - どんな風に変えるか？ → 予備の画像と切り替えたい
 - 具体的には？ → ``タグのsrc属性に attr を設定する
- * せっかくなので、``タグのalt属性も変更しよう。

5. エラー処理

- `.error(関数)` エラーが発生したときに(関数)を実行

エラーの例…リンク切れなど404の場合がほとんど

(注意)エラーの設定は、事前(エラーが起こる前)に必要

5. エラー処理

●.attr() の書き方いろいろ

- ・1つだけ設定する場合 attr(キー, 値)

(例) `$('img').attr('alt', '季節の花の写真');`

- ・複数設定する場合 attr(プロパティ)

(例) `$('img').attr({`

`alt: '季節の花の写真',`

`src: 'flower.jpg'`

`});`



中カッコに注意

5. エラー処理

●.error()と一緒に使われやすいもの **.replaceWith(中身)**

指定した要素を(中身)のテキストやHTML で置き換える

* (中身)はHTMLタグが有効

(例)

```
$( 'p' ).replaceWith( 'こんにちは。' );
```

//pタグの中身を「こんにちは。」に置き換える

```
$(this).replaceWith( '<div>こんにちは</div>' )
```

//直前で指定した要素の中身を<div>付き「こんにちは」に置き換える

5. エラー処理

● 練習問題

タグで配置した画像がリンク切れしていた場合、
画像は表示させず、テキストで「画像が見つかりません」と
表示するプログラムを作成してください。

【ヒント】.replaceWith()を使います